



2021年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月1日
東

上場会社名 象印マホービン株式会社 上場取引所
 コード番号 7965 URL http://www.zojirushi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 市川 典男
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡本 茂久 (TEL) 06-6356-2368
 四半期報告書提出予定日 2021年10月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第3四半期の連結業績(2020年11月21日～2021年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第3四半期	57,918	3.8	5,148	31.3	5,320	32.6	3,461	29.4
2020年11月期第3四半期	55,782	△6.4	3,920	△4.5	4,013	△8.4	2,674	△12.3

(注) 包括利益 2021年11月期第3四半期 4,526百万円(65.3%) 2020年11月期第3四半期 2,739百万円(48.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第3四半期	51.19	—
2020年11月期第3四半期	39.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第3四半期	96,204	75,515	77.9
2020年11月期	97,019	72,917	74.5

(参考) 自己資本 2021年11月期第3四半期 74,922百万円 2020年11月期 72,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年11月期	—	15.00	—	—	—
2021年11月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年11月21日～2021年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,500	3.4	6,700	23.1	6,700	17.0	4,400	11.6	65.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社 (社名) 、 除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年11月期3Q	72,600,000株	2020年11月期	72,600,000株
② 期末自己株式数	2021年11月期3Q	4,968,781株	2020年11月期	4,987,621株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年11月期3Q	67,621,802株	2020年11月期3Q	67,607,750株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ワクチン接種が進んだ米国や感染拡大の抑制に成功した中国では、一旦、景気回復が見られたものの、感染力の強いデルタ型の流行で減速懸念が強まってきました。ワクチン接種が遅れる東南アジアや日本においては、外出行動や経済活動が制限されるなど、回復力の弱い状態が続きました。感染再拡大による消費減速や資源高によるコスト増、半導体不足の懸念も浮上するなど、今後も景気回復が不透明な状況が続く見込みです。

このような経営環境の中で、当社グループは2020年11月21日より、新しい日常における新たな中期2ヵ年計画『ADAPT Phase II』をスタートし、象印ブランドを現状の家庭用品ブランドから「食」と「暮らし」のソリューションブランドへ進化させるため、「領域の水平的拡大」、「領域の垂直的拡大」、「経営基盤の強化」に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年実績から2,135百万円増加し57,918百万円（前年同期比3.8%増）となりました。製品区分別では調理家電製品、リビング製品、生活家電製品共に前年を上回りました。連結全体の国内売上高は37,183百万円（前年同期比0.9%減）、海外売上高は20,735百万円（同13.5%増）となり、海外売上高構成比は35.8%となりました。海外では台湾の売上は減少しましたが、Eコマース向けが好調な北米や、中国、東南アジアでは前年実績を上回りました。

利益については、高付加価値商品を中心とした売上高の増加により、営業利益は5,148百万円（前年同期比31.3%増）となりました。経常利益は5,320百万円（同32.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,461百万円（同29.4%増）となりました。

製品区分別の業績は次のとおりであります。

①調理家電製品

調理家電製品の売上高は、42,231百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

国内では、炊飯ジャーは、かまどの炎のゆらぎを再現した最高級モデルの圧力IH炊飯ジャー「炎舞炊き」シリーズは好調に推移しましたが、普及価格帯が苦戦したことにより、全体としては前年実績を下回りました。電気ポットは市場の縮小傾向もあり低調に推移しました。電気調理器具では、緊急事態宣言の再発令に伴う外出自粛により、巣ごもり消費で需要の高いホットプレートやコーヒーメーカーなどの販売が伸長し、前年実績を上回りました。

海外では、炊飯ジャーや電気ポット、電気調理器具が、北米市場や中国市場、東南アジア市場で好調に推移しました。特に北米市場では、巣ごもり消費による需要の拡大によって調理家電製品の販売が大幅に増加しました。

②リビング製品

リビング製品の売上高は、12,598百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

国内では、業界初となる“せん”と“パッキン”がひとつになった「シームレスせん」を採用したステンレスマグが好調に推移するなど、ステンレスボトルが販売を牽引し、減少の大きかった前年を大幅に上回りました。

海外では、ステンレスボトルが主力の中国市場で好調に推移したことにより、全体では前年実績を上回りました。

③生活家電製品

生活家電製品の売上高は、1,784百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

国内では、加湿器は需要増に供給が追いつかず販売が減少しましたが、衛生志向の高まりにより、ふとん乾燥機や空気清浄機が好調に推移し前年実績を上回りました。

④その他製品

その他製品の売上高は、1,304百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

・地域別製品区分別売上高

(単位：百万円)

		日本	海外				計	合計	前年 同期比 (%)
			アジア		北米	その他			
			内、中国						
売上高	調理家電	29,509	7,598	3,000	5,099	23	12,721	42,231	2.5
	リビング	5,022	6,239	4,216	864	472	7,576	12,598	8.7
	生活家電	1,740	43	—	—	—	43	1,784	1.0
	その他	910	296	83	96	0	394	1,304	5.1
		37,183	14,178	7,300	6,060	495	20,735	57,918	3.8
構成比(%)		64.2	24.5	12.6	10.5	0.9	35.8	100.0	—

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が814百万円、負債が3,413百万円減少した一方、純資産は2,598百万円増加しました。その結果、自己資本比率は3.4ポイント増加し77.9%となりました。

総資産の減少814百万円は、流動資産の減少391百万円及び固定資産の減少423百万円によるものであります。

流動資産391百万円の減少は主に、現金及び預金3,866百万円、原材料及び貯蔵品548百万円が増加した一方、受取手形及び売掛金2,786百万円、電子記録債権223百万円、有価証券400百万円、商品及び製品789百万円、その他流動資産566百万円が減少したことによるものであります。また、固定資産423百万円の減少は主に、退職給付に係る資産475百万円が増加した一方、工具、器具及び備品205百万円、リース資産199百万円、ソフトウェア246百万円、繰延税金資産178百万円が減少したことによるものであります。

負債3,413百万円の減少は、流動負債2,349百万円及び固定負債1,063百万円が減少したことによるものであります。

流動負債2,349百万円の減少は主に、1年内返済予定の長期借入金1,500百万円が増加した一方、支払手形及び買掛金1,791百万円、未払費用219百万円、未払法人税等761百万円、賞与引当金605百万円、その他流動負債374百万円が減少したことによるものであります。また、固定負債1,063百万円の減少は主に、繰延税金負債492百万円が増加した一方、長期借入金1,500百万円、リース債務120百万円が減少したことによるものであります。

純資産2,598百万円の増加は主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上3,461百万円、剰余金の配当の支払1,893百万円、為替換算調整勘定1,031百万円が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、国内においては巣ごもり関連商品や衛生関連商品が伸長し、ステンレスマグを中心にステンレスボトルの売上が増加いたしました。しかしながら、炊飯ジャーが前年実績を下回ったことが影響し、全体としてはほぼ前年並みの売上となりました。また、海外においては北米をはじめ中国、東南アジアで前年実績を上回るなど、好調に推移しました。

2021年11月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が引き続き不透明であることに加え、原材料の高騰や為替変動による調達コストの上昇も想定し、2021年6月21日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,391	38,257
受取手形及び売掛金	11,720	8,934
電子記録債権	1,575	1,351
有価証券	400	—
商品及び製品	19,994	19,204
仕掛品	268	230
原材料及び貯蔵品	2,053	2,601
その他	3,258	2,691
貸倒引当金	△7	△9
流動資産合計	73,654	73,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,774	12,881
減価償却累計額	△10,133	△10,295
建物及び構築物(純額)	2,640	2,585
機械装置及び運搬具	3,662	3,695
減価償却累計額	△3,257	△3,306
機械装置及び運搬具(純額)	404	389
工具、器具及び備品	9,441	9,732
減価償却累計額	△7,687	△8,183
工具、器具及び備品(純額)	1,753	1,548
土地	7,429	7,431
リース資産	949	1,037
減価償却累計額	△334	△621
リース資産(純額)	615	415
建設仮勘定	3	35
有形固定資産合計	12,848	12,405
無形固定資産		
ソフトウェア	774	527
その他	121	114
無形固定資産合計	896	642
投資その他の資産		
投資有価証券	6,565	6,533
繰延税金資産	617	438
退職給付に係る資産	2,150	2,626
その他	294	302
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	9,620	9,892
固定資産合計	23,364	22,940
資産合計	97,019	96,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,967	7,175
1年内返済予定の長期借入金	—	1,500
リース債務	335	254
未払費用	5,832	5,612
未払法人税等	1,039	278
賞与引当金	1,129	524
製品保証引当金	179	161
その他	897	523
流動負債合計	18,381	16,031
固定負債		
長期借入金	1,500	—
リース債務	271	150
繰延税金負債	770	1,262
退職給付に係る負債	2,853	2,901
その他	324	341
固定負債合計	5,720	4,657
負債合計	24,102	20,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,022	4,022
資本剰余金	4,214	4,243
利益剰余金	63,474	65,042
自己株式	△965	△961
株主資本合計	70,746	72,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,913	1,867
為替換算調整勘定	129	1,160
退職給付に係る調整累計額	△471	△452
その他の包括利益累計額合計	1,570	2,575
非支配株主持分	599	593
純資産合計	72,917	75,515
負債純資産合計	97,019	96,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月21日 至 2020年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月21日 至 2021年8月20日)
売上高	55,782	57,918
売上原価	37,244	38,084
売上総利益	18,538	19,833
販売費及び一般管理費	14,617	14,685
営業利益	3,920	5,148
営業外収益		
受取利息	57	41
受取配当金	120	132
仕入割引	23	26
持分法による投資利益	61	—
受取ロイヤリティー	25	15
受取賃貸料	84	84
為替差益	35	271
増値税還付金	—	56
その他	49	87
営業外収益合計	457	715
営業外費用		
支払利息	23	20
売上割引	316	305
持分法による投資損失	—	187
その他	24	29
営業外費用合計	365	543
経常利益	4,013	5,320
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	—	17
特別利益合計	—	19
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	15	5
投資有価証券評価損	2	—
情報セキュリティ対策費	41	—
新型コロナウイルス感染症による損失	35	—
特別損失合計	95	5
税金等調整前四半期純利益	3,918	5,334
法人税、住民税及び事業税	640	1,149
法人税等調整額	540	691
法人税等合計	1,181	1,841
四半期純利益	2,736	3,493
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,674	3,461

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月21日 至 2020年8月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月21日 至 2021年8月20日)
四半期純利益	2,736	3,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	△45
為替換算調整勘定	87	1,004
退職給付に係る調整額	15	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	55
その他の包括利益合計	2	1,033
四半期包括利益	2,739	4,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,694	4,466
非支配株主に係る四半期包括利益	44	60

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。